

「私の仕事を紹介します」 宮下康則先輩(人材派遣・工務店経営)



私の仕事は美容室などの内装、壁紙を貼ったり、床を平らに加工して床を貼る人材を現場に派遣することです。

内装の仕事を簡単に紹介します。まずは何と言っても図面が無ければなりません。何事も方

針がないままに始まるわけには行きません。図面を見ながら施工主（お客様）と打ち合わせを重ねます。

部屋の間仕切り、壁、床の色等も含まれます。そうして墨出しをします。部屋の間仕切りをどうするかです

ね。それから壁の下地を作り壁紙を貼ります。ここから一番の難敵のレベル出しが始まります。床を真っ平

らにしなければなりません。ここが一番神経を使うところです。そうして何度も確認をしたあとに床材を貼りま

す。その後、美容室ですとシャンプー台の設置、カット面、鏡の設置を行います。私の会社では、現場に出

るための研修を行ってから現場に派遣をしています。

この仕事を思いついたのは、高校を卒業して父が建設業でしたので家業を手伝っていました。

シャッターの下請けの仕事でした。仕事があるときとそうでないときのばらつきが激しく安定はしていませんで

した。また怪我をしたらなんの保証もありませんでした。結婚をして子供も

いました。子供を大学へやりたいと漠然と考えていました。

人を研修して、一人でできないことをみんなでやればまとまった仕事が請け負えると考え

て会社創り、人材募集、顧客集めを並行して行いました。

三十歳の時、家族を含めて周りは大反対をしましたが、事業計画を示し収益を説明して納得してもらい会社を始めました。「いまやらないといつやるんだ。絶対に諦めない」という気持ちは強かったですね。

自分で事業を始めて中学時代、野球部で敗戦投手になったときのことがよく頭をよぎりました。勝っていた試合を自分の心のスキから負けたこと。

相手の諦めないという気持ちに負けたことがよく頭をよぎりました。

とにかく、人脈がありませんでしたから、お客様周りを繰り返し、小さな仕事を積み重ねていきました。そこから、紹介を得て少しずつ広がっていきました。仕事量が少ないと人はやめてしまいます。多いときは同業他社の助けを借りることもあります。

野球部で培った継続性、そして少人数ながらいつもと大会常連校にいただいた監督の手腕、勝つための戦略を振り返りながら仕事上での戦略を考えています。会社を設立して19年。社員も増えてきました。彼らに業界平均より上の給料を払えるようにすることを目標にしています。「ビジョンを持つこと」「努力すればできることがある」ことを伝えたいと思っています。

感想

- 絶対にあきらめないという話を聴いて元気が出た。
- 1ミリ間違えたらやり直しになるという緊張感の下で仕事をしているんだなあ、仕事ってすごいなあと感じました。
- 自分がした辛いことを社員にはさせたくないという思いは素晴らしいと思いました。
- 失敗したっていいんだ。やり通す y けることが大切なんだ。

- 負けて知った心の際。
- なんでもビジョンを持つということ。
- リスクを背負はないと何もできない。
- 慢心は命取りなんですね。
- 強い信念が大事なんですね。
- 成功できないと思ったら成功しないんですね。
- 野球の試合で1イニングで逆転されたということ。

11/30 宮下先輩の特別講義アンケート

印象に残った話を具体的に書いてください

絶対にあきらめないことが大事だ、という話を聞いて、元気が出た。
私もあきらめなければ受験合格できるかもしれない、と思えてきて、
もっと頑張ろうと思いました。

1mmもまちがえたらいけない仕事をしているのが
すごいと思った。

中学時代の経験を高校卒業後、家庭を築いたときに活かして、
自分が経験したから「早く社員さんには同じ様にしたい」という考えが
出てきたのだと思いました。

印象に残った話を具体的に書いてください

中学のころは何も考えずに後悔してしたが、30代のときに家族と
持ち野球の経験から将来のことと考えると成功したということ。

社、内装は1mm単位で間違えてはいけなく、適当な仕事をしていると
絶対に信用は得られないということ。少しずつ信用してやるために、
1つずつ仕事をこなして後に成功できるということ。

中学時代の「相手」から学んだというのが印象に残りました。
本来「敵」という立場で向きあわなければならない相手から何かを学ぶ、
というのが凄いなと思いました。

野球の試合で大勝していたので、月曜の気分になって、その次の日
負けましたという話。
理由は今の受験生にあてはまると思ったから。

なんでもど「ツヨク」を立てるということが大切ということ

自分の将来のことを、また「自分からはいけなく」、自分の好きなことを
調べろ。あきらめなければいい仕事!! 全部気持で!!

※中学の時の野球で、1月3対1で勝つ。おと1イニング点を取って勝つ。
という所で相手に打たれ負けな話。
負けの点で負けていたという言葉が心に残った。

時間はあるよでない。
僕はこの言葉に胸をうたれました。僕は今まで時間はくさびとあるから
いいかと勉強をしていませんでしたが、今日の宮下先輩の話を知り時間は
ないから、今から頑張ろうと思いました。

印象に残った話を具体的に書いてください

[起業をする時のまわりの人達の反応が全員反対されたのに自分の意志を貫いて今も仕事をかんばっていること。]

[野球の準決勝で5-1で勝っていたのに、最終で逆転負けしたこと。]

[風引に反対されているのに頑張ったこと。]

[1mm間違えたらダメな世界で、ミスも最小限にして内装の仕事で信頼を得ているということ。]

[会社士を自分でたてる、というところがいいしょうにのこりました。]

[中学時代の話で、部活の時、水分をとれなくてトイレに行くと水エのんでいたという話]

[中学時代の野球の練習が辛かったこと、また、大会で勝っていたのに負けてしまったことです。これらのことは将来よく立派なことを感じました。]

[成功かではないかと思っただけで成功しない。成功かと思えば成功する。]

[頑張っている人は誰かが見てくれるという話、]

[1mmでもミスがあたらぬ世界で、家族社員を支えるために最善をつくしたこと]

[諦めないでやり続けることで未来に役立つ]

[油断した試合で負けました]

[野球の大会で「あと1イニング」の時に逆転されてしまったという話か」とても印象に残りました。相手のチームは点差が「あったのに最後まであきらめていなかった」ときいてスゴイと思われました。]

○自分にとってプラスに思えたことは何でしょうか？

「あきらめないことは生きる中でとても大切だと思いました。」

「自分の親が宮下先輩と同じように言いつめてはいけな
いということも言われ続けていて、本当に大切なのだと実感した」

「自分で考えて、あきらめず"＝仕事をすれば"
誰でも成功できると思っていてプラスに思っていました。」

「受験と同じで全力でやり続けることが大切だと思
った」

「反発を受けても、努力を続けなければいけません」

「入りを背負わないという事、という事。」

「あきらめない心をもつことが大切だ」とわかった、

「人生プランについて今からで考えた方がいいということです。夢に
ついてもっと真剣に考えたいです。」

「家族とかに反対されても自分のやりたこととしたいこと」

「今からでもビジョンをもつことは大切だ」と思
いました。」

「強い気持ちがあると、可能性が低いことも成功すること。」

「あきらめないことが大切」

「常に考えながら生きるべきだ」ということ。」

「まわりの意見も大切にしなきゃいけないけど、自分の考えも大切
にしなきゃいけないこと。」